

# 平成29年度施政方針の総括

## (戦略プロジェクト・施策の大綱別)

総合計画における施策の大綱等	ページ
<b>【戦略プロジェクト】</b>	
誇りと幸せを実感できるまちづくり～人口プロジェクト～	2
世界へ発信するまちづくり～ILCプロジェクト～	3
<b>【施策の大綱】</b>	
I みんなで創る生きがいあふれるまちづくり	3
II 未来を拓く人を育てる学びのまちづくり	6
III 健康で安心して暮らせるまちづくり	7
IV 豊かさと魅力のあるまちづくり	10
V 環境にやさしい安全・安心なまちづくり	13
VI 快適な暮らしを支えるまちづくり	14
行政経営改革の推進について	17

平成29年度施政方針の総括（施策の大綱別）

施策の大綱等	施政方針で述べた施策の総括（評価）																																																																							
<p>誇りと幸せを実感できるまちづくり ～人口プロジェクト～</p>	<p><b>〔総括評価〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年3月に策定した「奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、「安定した雇用と新しい産業の創出」「出会いを通じた結婚支援、子育て環境ナンバーワンへ」「体験を通じた新たな奥州ファンの開拓」そして「地域愛の醸成と、安心・安全に生活できる個性豊かな地域社会の実現」を基本目標に、人口減少に歯止めをかけるための各種取組みを実施した。</li> <li>雇用創出の取組みでは、やる気商業者の支援や観光客誘致促進、中小企業等の創業支援や販路開拓支援に加え、南部鉄器等の伝統工芸支援、ブランド牛生産拡大や新品種リンゴの導入促進などに取り組み、安定した雇用の確保に努めた。</li> <li>子育て環境ナンバーワンの取組みでは、不妊治療費助成を行ったほか、保育士育成確保対策など、安心して子どもを産み育てる環境整備に努めた。</li> <li>また、移住・定住促進を通じて新たな奥州ファンの開拓に努めたほか、市のPRとともに地域愛の醸成に向け、いわて奥州きらめきマラソンやカヌージャパンカップなどの実施や、それぞれのライフステージに応じた学習機会を提供するなどの事業を展開した。</li> <li>これら4つの基本目標に向けた取組みを強化するため、副市長を委員長に関係部長で構成する「奥州市人口プロジェクト推進委員会」を設置し、部局横断的に情報共有を図りながら取組みを進める体制構築を図った。</li> </ul> <p><b>【主な施策の達成度合を図る指標】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3" style="background-color: #d9ead3;">指 標 名</th> <th rowspan="3" style="background-color: #d9ead3;">単 位</th> <th colspan="4" style="background-color: #d9ead3;">目標達成度</th> </tr> <tr> <th rowspan="2" style="background-color: #d9ead3;">現 値 (H27)</th> <th rowspan="2" style="background-color: #d9ead3;">目 標 値 (H31)</th> <th colspan="2" style="background-color: #d9ead3;">H29年度末時点</th> </tr> <tr> <th style="background-color: #d9ead3;">実 績</th> <th style="background-color: #d9ead3;">達 成 度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会増減</td> <td>人</td> <td>△373</td> <td>△280</td> <td>△519</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ジョブカフェ奥州等を通じて就職決定した人数</td> <td>人</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>171</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>観光入込推計</td> <td>述べ人数</td> <td>2,209,000</td> <td>2,370,000</td> <td>2,084,429</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>不妊治療の助成件数（年間）</td> <td>件</td> <td>67</td> <td>87</td> <td>80</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>待機児童数（10月1日現在）</td> <td>人</td> <td>58</td> <td>0</td> <td>31</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>UIターン者数（累計）</td> <td>人</td> <td>121</td> <td>500</td> <td>340</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>観光ガイドの利用者数</td> <td>人</td> <td>1,300</td> <td>1,600</td> <td>1,310</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>青少年教育講座受講者数</td> <td>人</td> <td>48,541</td> <td>49,000</td> <td>55,827</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>地域リーダー養成講座受講者数</td> <td>人</td> <td>1,336</td> <td>1,400</td> <td>2,717</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <p>達成度 ◎：達成している ○：概ね達成している △：あまり達成していない ×：全く達成していない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これら総合戦略事業を取り組む中で、一定の成果をあげている指標もあるものの、人口の社会減少を食い止める状況までにはいたっていない。人口の</li> </ul>						指 標 名	単 位	目標達成度				現 値 (H27)	目 標 値 (H31)	H29年度末時点		実 績	達 成 度	社会増減	人	△373	△280	△519	×	ジョブカフェ奥州等を通じて就職決定した人数	人	60	60	171	◎	観光入込推計	述べ人数	2,209,000	2,370,000	2,084,429	×	不妊治療の助成件数（年間）	件	67	87	80	○	待機児童数（10月1日現在）	人	58	0	31	○	UIターン者数（累計）	人	121	500	340	○	観光ガイドの利用者数	人	1,300	1,600	1,310	△	青少年教育講座受講者数	人	48,541	49,000	55,827	◎	地域リーダー養成講座受講者数	人	1,336	1,400	2,717	◎
指 標 名	単 位	目標達成度																																																																						
		現 値 (H27)	目 標 値 (H31)	H29年度末時点																																																																				
				実 績	達 成 度																																																																			
社会増減	人	△373	△280	△519	×																																																																			
ジョブカフェ奥州等を通じて就職決定した人数	人	60	60	171	◎																																																																			
観光入込推計	述べ人数	2,209,000	2,370,000	2,084,429	×																																																																			
不妊治療の助成件数（年間）	件	67	87	80	○																																																																			
待機児童数（10月1日現在）	人	58	0	31	○																																																																			
UIターン者数（累計）	人	121	500	340	○																																																																			
観光ガイドの利用者数	人	1,300	1,600	1,310	△																																																																			
青少年教育講座受講者数	人	48,541	49,000	55,827	◎																																																																			
地域リーダー養成講座受講者数	人	1,336	1,400	2,717	◎																																																																			

施策の大綱等	施政方針で述べた施策の総括（評価）
	<p>増減は、様々な要因が複雑に絡まっており、特定施策での達成は困難であるが、引き続き事業内容と効果を検証しながら長期的に取り組むを進めていく必要がある。</p>
<p>世界へ発信するまちづくり～I L Cプロジェクト～</p>	<p>〔総括評価〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I L Cプロジェクトについては、文部科学省の有識者会議が専門的見地から議論を進める中で、その誘致実現に向け下記のような様々な取り組みを行った。</li> <li>・ 市民の意識啓発の取り組みとしては、小中学生を対象とした出前授業を22校で開催したほか、一般向けの出前講座や市が主催・共催した講演会を含め、市民述べ2,334人が参加し、市民各層の意識醸成と人材育成に努めた。</li> <li>・ また、市の玄関口とも言える水沢江刺駅に I L C 横断幕を設置したほか、奥州市議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟と連携し、市内5カ所に中学生がデザインした I L C の P R 看板を設置し、市内外への誘致促進 P R ・ 意識醸成を図った。</li> <li>・ I L C の積極的な周知については、広報への I L C 関連記事を毎月掲載し、また、I L C ウェブサイトをリニューアルし、視認性や操作性を向上させたほか、多文化共生の観点から市公式ホームページに英語による生活情報発信記事を掲載し、外国人市民に行政手続等の生活情報を発信した。</li> <li>・ また、海外の研究者との意見交換会や I L C に関する国際会議において、I L C 国際化推進員が通訳対応を行うなど、海外研究者と地元関係者との円滑な意思疎通を図った。</li> <li>・ これらの取り組みを通じて、「奥州市 I L C まちづくりビジョン」の周知及び進捗管理を図った。</li> </ul>
<p>I みんなで創る生きがいあふれるまちづくり</p>	<p>〔総括評価〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民参画と協働によるまちづくりの推進については、自治基本条例及び市民参画条例に基づき、市民の市政への参画機会の拡充を図るとともに、「協働のまちづくり指針（増補版）」をベースとした協働推進施策を重層的に展開し、市民への協働意識の更なる浸透と、地区振興会等地域自治組織や N P O 法人等市民公益活動団体の主体的・自立的活動に対する支援に努め、協働のまちづくりの定着に向けた取り組みに注力した。</li> <li>・ 豊かな生き方を築く生涯学習・文化活動の推進については、関係団体等と連携を図りながら市民への学習機会や芸術文化を鑑賞できる機会を提供し、市民一人ひとりが自主的に学ぶ環境を整備した。</li> <li>・ 潤い豊かなスポーツライフの推進については、スポーツ関係団体と連携し、全市民週一運動の周知及び推奨の一環として、奥州市独自のチャレンジデーを企画し、市民のスポーツへの関心を高めながら、体力の向上と健康の保持増進を図るとともに、「第1回いわて奥州きらめきマラソン」を</li> </ul>

施策の大綱等	施政方針で述べた施策の総括（評価）						
	開催し、全国から4,701人のランナーにエントリーいただき、奥州の「ひと」や「まち」の魅力を全国に発信した。						
	【主な施策の達成度合を図る指標】						
	指 標 名		単位	目標達成度			
				現値 (H27)	目標値 (H33)	H29年度末時点	
						実績	達成度
	地区センター指定管理者制度導入割合		%	0.0	100.0	100.0	◎
	市民提案型協働支援事業認定事業数		件	—	30	21	△
	岩手県男女共同参画推進サポーター認定者数		人	45	55	48	○
	外国人住民数		人	477	560	526	○
	社会教育講座受講者対総人口比		%	63.1	60.0	58.0	○
	市民一人当たり図書等貸出冊数		冊	5.1	5.1	5.1	◎
	文化会館利用者数対総人口比率		%	231.4	230.0	246.3	◎
	成人の週1回以上のスポーツ実施率		%	56.9	61.0	59.0	○
国民体育大会出場者数		人	26	40	32	○	
体育施設の利用者数		人	618,990	650,000	589,669	○	
達成度 ◎：達成している ○：概ね達成している							
△：あまり達成していない ×：全く達成していない							
【個別施策の評価】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>開かれた市政の推進については、市民参画条例等に基づき、各種委員会や審議会などの設置とその委員の公募、市民説明会、意向調査、意見公募（パブリックコメント）、などの市民参画手続を適切に実施し、市民参画の機会を確保した。</li> <li>地域コミュニティ活動の活性化については、引き続き各種交付金、補助金の財政支援を行い、地域自治の振興施策を推進した。また、地区センター指定管理者制度導入地区が25地区に拡大したことから、地域支援担当職員を拡充し、地域との協働・連携強化に取り組んだことで、各地区における多様かつ主体的な地域づくり活動が大きく前進した。</li> <li>市民公益活動の推進については、市民公益活動の拠点である市民活動支援センターの機能強化に取り組み、NPO等に対する情報誌の発行や関連情報の提供などを行った。また、地域課題解決のための協働事業化に向けた話し合いの場として設置した「協働の提案テーブル」では、市民提案型協働支援事業補助金に係る提案25事業（うち、認定事業21事業）と補助金以外の提案3事業についての話し合いを行い、市民と行政等との協働での事業推進体制を構築するとともに、「協働のまちづくりアカデミー」により協働のまちづくりの担い手として17人を輩出したことから、今後の活躍が期待される場所である。</li> <li>男女共同参画社会形成の促進については、「第2次男女共同参画計画」を</li> </ul>							

施策の大綱等	施政方針で述べた施策の総括（評価）
	<p>策定し、平成38年度までの推進施策を決定するとともに、男女共同参画“おうしゅう”などの市民団体や男女共同参画サポーター等の協力を得ながら、講演会及びセミナーを開催し、市民の意識啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生・姉妹都市交流の促進については、市国際交流協会との連携により、行政サービスや生活情報の多言語ラジオ放送、外国人の就労支援を行い、外国人市民にも暮らしやすい環境の実現に努めた。また、おやつフェスティバルで姉妹都市を紹介し、姉妹都市への関心と理解を促進した。</li> <li>・生涯にわたる学習活動への支援については、市民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習事業、教育振興運動、幼稚園・保育園等関係機関を対象とした家庭教育力の向上を図る家庭教育支援事業、放課後に子ども達の安心安全な場所をつくり、スポーツや体験学習を行う放課後子ども教室事業、地域ボランティアの参画によって教育の充実を図る学校支援地域本部事業を実施した。また、地区振興会が企画運営する生涯学習事業が効果的に実施できるよう地域活動員を対象とした研修会を実施するとともに、県教育委員会等が主催する生涯学習研修会の受講について推奨した。</li> <li>・本に親しむ活動の推進については、『毎月4日は家庭読書の日「ねえ、読んで」』と読書活動に係る各種情報について、広報おうしゅう、市のウェブサイト及びPRポスター、チラシを活用した周知を行ったほか、絵本の読み聞かせ活動を推進し、子どもの読書習慣の日常化や家庭教育力の向上を図った。また、中高生にオススメするブックリストを作成し配布したほか、中学生への絵本の読み聞かせを中心とした子どもの読書活動推進事業に読書ボランティアの協力を得ながら取り組んだ。</li> <li>・芸術文化の推進については、奥州市芸術文化協会に対する補助や奥州市民芸術文化祭を通じた市民の文化活動支援と成果の発表、奥州市民劇北海道公演をはじめ文士劇や市民劇場などの市民が自ら参加できる手づくり舞台の発表等、市民参加型文化活動を推進した。</li> <li>・ライフステージに応じたスポーツ活動の推進については、奥州市民体育祭、スポレク奥州2017など、誰もが参加でき、気軽に楽しめるスポーツイベントを開催し、スポーツを通じて市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むことができるまちづくりの推進に努めた。</li> <li>・競技水準の向上については、スポーツ関係団体等と連携を図りながら、リーディングスポーツ団体支援事業や未来のトップアスリート育成事業による選手の育成強化、指導者の養成を、また、幼児期からスポーツに親しむ機会の提供を行うことにより、運動の基本となる走力の強化と運動能力の向上、種目別団体の育成や競技水準の向上に努めた。また、顕著な成績を収めた個人や団体の表彰を行った。</li> <li>・スポーツを支える基盤の整備については、市内体育施設の適正な維持管理を行い、利用者の利便性の向上と安全を確保するとともに、各種大会の開催を通じて競技スポーツの技術向上に努めた。</li> </ul>

施策の大綱等	施政方針で述べた施策の総括（評価）																																				
II 未来を拓く 人を育てる学 びのまちづく り	<p><b>〔総括評価〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生きる力」を育む学校教育の充実については、「就学前教育の充実」、「確かな学力の保障」、「不登校・いじめの防止」、「特別支援教育の充実」の4つを柱に、児童生徒の教育の充実に努めた。              また、小中学校の耐震補強事業に取り組み、施設の安全性の確保に努めた。</li> <li>・次代をつむぐ歴史遺産の保存と活用については、市内の歴史遺産を有効に活用し、伝承するため、国指定史跡の整備活用、古文書の調査、建造物の調査・公開を進めたほか、引き続き世界遺産拡張登録に向けた調査研究を実施した。</li> </ul> <p><b>【主な施策の達成度合を図る指標】</b></p> <table border="1" data-bbox="389 797 1481 1133"> <thead> <tr> <th rowspan="3">指 標 名</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="4">目標達成度</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">現状値 (H27)</th> <th rowspan="2">目標値 (H33)</th> <th colspan="2">H29年度末時点</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自己肯定感をもった児童生徒の割合</td> <td>%</td> <td>小 77.1 中 65.3</td> <td>小 77.1 中 68.1</td> <td>小 77.6 中 69.7</td> <td>◎ ◎</td> </tr> <tr> <td>教育施設トイレ洋式化率</td> <td>%</td> <td>42.1</td> <td>50.0</td> <td>44.6</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>国指定史跡胆沢城跡第Ⅰ期外郭南門地区整備率</td> <td>%</td> <td>34.8</td> <td>10.0</td> <td>64.96</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>文化財施設利用者数</td> <td>人</td> <td>75,000</td> <td>76,000</td> <td>77,545</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <p>達成度 ◎：達成している ○：概ね達成している            △：あまり達成していない ×：全く達成していない</p> <p><b>〔個別施策の評価〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・義務教育の充実については、児童生徒自身が主体的・目的的・協働的に学ぶ授業づくりを進めるために、学力向上支援事業により「学びの共同体」の理念をさらに追究するとともに、今後さらに推進が求められるICT教育に係る視察研修の実施や、各校における授業研究会等を通して、授業改善を図った。</li> <li>・心の教育の充実については、多様な教育活動を通して、望ましい人間関係づくりや児童生徒の学校不適応問題の未然防止と早期発見・早期対応に努め、相手を思いやる心や助け合おうとする心の育成を図った。</li> <li>・安全・安心な教育環境の充実については「新市建設計画」に基づき、玉里小学校校舎耐震補強実施設計業務、江刺南中学校屋内運動場耐震診断業務及び耐震補強工事实施設計業務、胆沢愛宕小学校屋内運動場耐震診断業務及び耐震補強工事实施設計業務、佐倉河小学校校舎耐震診断業務及び耐震補強工事实施設計業務、佐倉河幼稚園園舎耐震診断業務及び耐震補強工事实施設計業務並びに江刺東中学校屋内運動場耐震補強工事を実施し、より安全な教育環境整備を図った。</li> <li>・歴史遺産の公開と活用については、平成23年度に着手した胆沢城跡歴史公園の整備事業について、第Ⅰ期外郭南門地区の整備事業を継続して実施し</li> </ul>	指 標 名	単位	目標達成度				現状値 (H27)	目標値 (H33)	H29年度末時点		実績	達成度	自己肯定感をもった児童生徒の割合	%	小 77.1 中 65.3	小 77.1 中 68.1	小 77.6 中 69.7	◎ ◎	教育施設トイレ洋式化率	%	42.1	50.0	44.6	○	国指定史跡胆沢城跡第Ⅰ期外郭南門地区整備率	%	34.8	10.0	64.96	○	文化財施設利用者数	人	75,000	76,000	77,545	◎
指 標 名	単位			目標達成度																																	
				現状値 (H27)	目標値 (H33)	H29年度末時点																															
		実績	達成度																																		
自己肯定感をもった児童生徒の割合	%	小 77.1 中 65.3	小 77.1 中 68.1	小 77.6 中 69.7	◎ ◎																																
教育施設トイレ洋式化率	%	42.1	50.0	44.6	○																																
国指定史跡胆沢城跡第Ⅰ期外郭南門地区整備率	%	34.8	10.0	64.96	○																																
文化財施設利用者数	人	75,000	76,000	77,545	◎																																

施策の大綱等	施政方針で述べた施策の総括（評価）
	<p>た。実施に当たっては有識者や地元の方々に構成する胆沢城跡整備活用指導委員会を開催し、遺構の復元整備に向けた詳細な検討を行い、当該整備事業の着実な推進を図ったほか、胆沢城跡あやめ苑の活用と文化財保護意識の高揚を図るため「胆沢城あやめ祭り」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産の登録推進については、県及び関係市町と連携し、「平泉の文化遺産世界遺産拡張登録検討委員会」の指導を受けながら進めたほか、世界遺産拡張登録に向けて、市民等への普及啓発、全容解明に向けた発掘調査、来訪者の受入整備等各種事業の展開を図った。</li> <li>文化財の保存と管理については、保存管理事業及び公開活用事業等を実施し、文化財の保存及び活用の充実に努めた。</li> </ul>
<p>Ⅲ 健康で安心して暮らせるまちづくり</p>	<p>〔総括評価〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで支え合う地域福祉の推進については、日常的な見守りや災害時の避難支援等の支え合いの体制づくりを地域住民との協働で進めるため、奥州市社会福祉協議会と連携し、策定2年目の第2期奥州市地域福祉計画と第2次奥州市地域福祉活動計画のさらなる理解と協力を求めたほか、生活困窮者自立相談支援制度による各種支援を行った。</li> <li>子育て環境の充実に向け、地域子育て支援拠点事業や放課後児童クラブ事業等を実施したほか、発達支援センター事業や家庭児童相談の充実により保護者の育児不安を緩和し、支援を必要とする家庭にさまざまな施策が行き届くよう情報提供をするなど、安心して子育てができる環境づくりに取り組んだ。</li> <li>奥州市内の保育施設における待機児童の解消と、老朽化が進む市立教育・保育施設の改築について、将来需要に合わせた統廃合を進めるために策定した「奥州市立教育・保育施設再編計画」に基づき、教育・保育施設再編準備委員会を設置し、地域ごとに再編の進め方等を確認した。</li> <li>地域包括ケアシステムの構築に向けては、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、在宅医療と介護の連携、介護予防、認知症施策などに取り組んだ。</li> <li>奥州市総合計画など各種計画との整合性を図りながら、平成30年度からの3カ年計画となる高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画を策定した。</li> <li>健康づくりの推進については、脳血管疾患の死亡率は減少してきているものの、全国及び県と比較し、まだ高率であることから、脳卒中予防をテーマとした「健康まるごと講座」を地区センターとの協働により行った。また、疾病の予防と早期発見のため、各種健（検）診の受診率向上を目指し、すでに実施していた衣川地域での集団健診のほか、江刺地域においても集団健診を導入、また、セット検診や女性のためのレディース検診の拡大、商業施設を検診会場とするなど、受けやすい環境整備を図った。</li> <li>新市立病院建設事業について、平成29年1月に設置した新市立病院建設準備室において、コンサルタント業者や有識者等による協議・検討を行い</li> </ul>

施策の大綱等	施政方針で述べた施策の総括（評価）																																																
<p>ながら、新市立病院建設基本構想・基本計画の策定を進めた。</p> <p>【主な施策の達成度合を図る指標】</p> <table border="1" data-bbox="391 320 1489 779"> <thead> <tr> <th rowspan="3">指 標 名</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="4">目標達成度</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">現状値 (H27)</th> <th rowspan="2">目標値 (H33)</th> <th colspan="2">H29年度末時点</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童虐待相談終結割合</td> <td>%</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>13.8</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>小地域福祉ネットワーク数</td> <td>ネット</td> <td>2,772</td> <td>2,800</td> <td>2,586</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>成人肥満者の割合</td> <td>%</td> <td>31.4</td> <td>25.0</td> <td>32.7</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>認知症サポーター養成講座の年間受講者数</td> <td>人</td> <td>1,025</td> <td>1,100</td> <td>941</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム入所待機者（在宅）のうち、早期入所が必要な待機者</td> <td>人</td> <td>155</td> <td>0</td> <td>29</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>自殺死亡率（人口10万対）</td> <td>人</td> <td>20.1</td> <td>20.4</td> <td>16.1</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <p>達成度 ◎：達成している ○：概ね達成している △：あまり達成していない ×：全く達成していない</p> <p>【個別施策の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで支え合う地域福祉の推進については、「第2期奥州市地域福祉計画」に基づき、奥州市社会福祉協議会と連携のもと、小地域福祉ネットワーク事業等による地域住民の支え合い体制の構築を推進するとともに、災害時の要援護者対策として、「災害時要援護者避難支援計画」に基づく個別計画の作成を進めている。</li> <li>生活困窮者自立支援制度に基づく相談窓口である「くらし・安心応援室」において総合的な相談に対応したほか、直ちに一般就労に至らない相談者に対しては、一般就労を目指す前段階としてさまざまな訓練を行う就労準備支援事業を実施した。</li> <li>子育て環境の充実については、家庭相談員（婦人相談員と兼務）を1名増員し、子どもに関する諸問題の相談に対応したほか、児童療育指導員も1名増員し、心身の発達に課題のある児童及びその保護者の支援を行った。</li> <li>子育て支援サービスの充実については、子育て支援事業利用者支援員を1名配置し、待機児童の解消等を図るとともに、保育に関する施設や事業を円滑に利用できるよう支援を実施した。</li> <li>在宅医療と介護の連携については、医療と介護の関係機関からなる在宅医療介護連携推進協議会及び実務者レベルの検討部会を開催し、顔の見える関係づくりの推進及び在宅医療・介護連携の体制整備等に関する検討を行い、多職種間の情報共有ツールとして「医療・介護連携ガイドブック」、市民への普及啓発のための奥州市版エンディングノート「わたしの生き方ノート」を作成するとともに、市民向け講演会を開催した。</li> <li>介護予防については、介護予防の継続性を高めるため、住民が主体的に集い、体操等の介護予防に取り組む通いの場づくりを推進し、「いきいき百歳体操」を取り入れた住民主体による高齢者の通いの場「よさってくら</li> </ul>	指 標 名	単位	目標達成度				現状値 (H27)	目標値 (H33)	H29年度末時点		実績	達成度	児童虐待相談終結割合	%	22	23	13.8	×	小地域福祉ネットワーク数	ネット	2,772	2,800	2,586	○	成人肥満者の割合	%	31.4	25.0	32.7	×	認知症サポーター養成講座の年間受講者数	人	1,025	1,100	941	○	特別養護老人ホーム入所待機者（在宅）のうち、早期入所が必要な待機者	人	155	0	29	○	自殺死亡率（人口10万対）	人	20.1	20.4	16.1	◎	
			指 標 名	単位	目標達成度																																												
					現状値 (H27)	目標値 (H33)	H29年度末時点																																										
	実績	達成度																																															
	児童虐待相談終結割合	%	22	23	13.8	×																																											
	小地域福祉ネットワーク数	ネット	2,772	2,800	2,586	○																																											
	成人肥満者の割合	%	31.4	25.0	32.7	×																																											
	認知症サポーター養成講座の年間受講者数	人	1,025	1,100	941	○																																											
	特別養護老人ホーム入所待機者（在宅）のうち、早期入所が必要な待機者	人	155	0	29	○																																											
	自殺死亡率（人口10万対）	人	20.1	20.4	16.1	◎																																											

施策の大綱等	施政方針で述べた施策の総括（評価）
	<p>ぶ」の立ち上げ、運営支援を開始したほか、介護予防に関する出前講座や講演会を開催し、介護予防の重要性について普及啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険法の改正に伴い、これまで要支援者に対して予防給付として実施してきた「訪問介護」及び「通所介護」を、平成29年4月より介護予防・日常生活支援総合事業へ順次移行して実施した。</li> <li>・高齢者の生活支援体制整備については、関係機関との連携や生活支援コーディネーターの活動により、地域資源や住民ニーズの把握に努めた。また、生活支援コーディネーターによる地区センター訪問を実施し、各地区振興会との意見交換及び各地区の地域情報の収集を行った。</li> <li>・認知症対策については、「認知症カフェ」を地域のより身近な場所で交流が図られるよう、市内11か所の在宅介護支援センターに委託し、開催箇所の拡大を図った。</li> <li>・第6期介護保険事業計画に基づき、施設を整備し、指定地域密着型サービス事業所として指定した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>認知症対応型通所介護みんなの居場所「下小路」（前沢地域）</li> <li>地域密着型特別養護老人ホーム羽衣荘（衣川地域）</li> <li>小規模多機能ホームみんなの居場所「吉小路」（水沢地域）</li> </ul> </li> <li>・高齢者等の介護に従事する人材の確保を図るため、介護職員初任者研修受講料助成事業により、13人に助成金を交付した。</li> <li>・健康づくりの推進については、医師会、歯科医師会、食生活改善推進委員、スポーツ推進員等の協力を得て「健康づくりを実践し、健康寿命を延ばそう」をテーマに、「健康まるごと講座」（11地区、26回延べ580人）を通して、健康づくりに関する機運の醸成を図った。</li> <li>・心の健康づくりの推進について、中学生を対象とした命の大切さを考える講演会（4校、856人）や、心といのちの大切さを考える講演会（約200人）では、子育て中の保護者や一般を対象に実施した。また、ゲートキーパー養成事業（9回、348人）を通して、心の健康づくりについて意識啓発を行うことができた。新規として、介護予防事業の「よさってくらぶ」において、心の健康づくりについて講話を盛り込むこととし、地区担当保健師が対応した。働き盛りの自殺対策事業として、50歳のこころの健康度チェック事業を通じ、自らが心の健康状態について振り返る機会とし、支援の必要な対象者については、相談支援や適切な医療機関につなげる対応を行った。</li> <li>・市立病院・診療所への医師確保対策について、平成29年度末に退職を予定していた衣川歯科診療所長について、対応により休診期間を設けることなく新たな所長へ引き継ぐことが出来た。 <ul style="list-style-type: none"> <li>また、採用試験の受験者数が減少傾向にある看護師については、試験日程や内容等の見直しを図ることで、例年を超える新規採用職員数の確保が出来た。</li> <li>懸案であった江刺地域のへき地医療について、移動診療車による巡回診療へ切替え、医療環境の維持に努めた。</li> </ul> </li> </ul>

施策の大綱等	施政方針で述べた施策の総括（評価）
IV 豊かさや魅力のあるまちづくり	<p>〔総括評価〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業施策については、農業関係団体との連携を図りながら、持続的に発展する農業を目指して各種施策を進めた。</li> <li>・ 基盤づくりとして、担い手の確保を進めるため、ほ場整備事業を推進するとともに、農地中間管理事業を積極的に活用し農地の集積を推進した。</li> <li>・ 人づくりとして、認定農業者や新規就農者の確保、青年就農者の育成、集落営農組織の法人化支援に引き続き取り組むとともに、集落による多面的機能を支える活動を支援した。</li> <li>・ 産地づくりとしては、関係機関と連携し、既存農畜産ブランドのさらなる生産体制の拡充と販路拡大の支援を行った。</li> <li>・ 商業振興については、平成28年3月に策定した奥州市商店街活性化ビジョンに盛り込んだ事業を推進しているが、重点地域商店街への新規出店者数、市街地の通行量は目標値を下回るなど、厳しい状況が続いている。そのため、商工団体、商店街振興組合、まちづくり会社等との連携を密にし、更なる空き店舗の減少、商店街の魅力の向上を図り、「奥州市のやる気を育て、賑わいのある商店街づくり」を目指した取組を推進した。</li> <li>・ 観光振興については、「奥州市観光基本計画」に基づき、「どんとこい奥州誘客促進会議」の枠組みを軸として観光関係団体との連携を図りながら誘客促進の活動を行った。また、平泉等の広域観光に積極的に取り組み、圏域外からの誘客促進を図った。</li> </ul> <p>総合戦略事業としては観光客誘致促進事業を実施し、ガイド研修や観光プレミアムタクシーの周知など受入環境の強化を図るとともに、東北観光復興対策交付金を活用し、インバウンド事業として市民と台湾人の協働による奥州市の魅力が詰まった短編映画を作成した。外国人観光客入込数については、3,895人（前年比247%増）と大きく増加しているが、ニュージーランド村の閉園等の影響により、平成29年の観光客入込数は2,084,429人となり、前年に比較して約8万人の減となった。新たな観光資源として期待される胆沢ダム及び周辺施設の有効活用や外国人観光客の積極的な取り込みなどが喫緊の課題となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業誘致の推進については、経済の活性化、雇用の拡大等を目的に市長のトップセールスや首都圏等での誘致活動を行い、重点的誘致産業である自動車関連を始め、半導体関連企業の立地を促進した。また、パブリシティ展開の強化や、メッセナゴヤへの出展など、各種媒体を活用した誘致活動を実施した。積極的なフォローアップにより既立地企業の安定操業、事業拡大、撤退抑制に取り組んだ。</li> <li>・ 地域産業育成・振興については、未来の活力・産業育成事業などの補助制度の推進や産業支援コーディネーターの配置により、企業間や関係機関とのマッチング及び技術指導等の支援を行うなど、より一層の内発型産業振興に努めた。また、ものづくり企業の人材育成事業に引き続き取り組み技術力向上を図ったほか、企業ニーズに応じた各種施策を展開し、かつ異業</li> </ul>

施策の大綱等	施政方針で述べた施策の総括（評価）																																																																	
	<p>種交流、産学官連携による地域産業の振興にも取り組んだ。</p> <p>【主な施策の達成度合を図る指標】</p> <table border="1" data-bbox="391 347 1484 833"> <thead> <tr> <th rowspan="3">指 標 名</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="4">目標達成度</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">現状値 (H27)</th> <th rowspan="2">目標値 (H33)</th> <th colspan="2">H29年度末時点</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規就農者数</td> <td>人</td> <td>21</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>農業法人数</td> <td>団体</td> <td>76</td> <td>112</td> <td>90</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>基盤整備率</td> <td>%</td> <td>47.1</td> <td>49.0</td> <td>47.1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>重点地域商店街への新規出店者数</td> <td>店舗</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>重点商店街の通行量</td> <td>人</td> <td>12,894</td> <td>13,410</td> <td>10,835</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>観光客入込数</td> <td>人</td> <td>2,251,318</td> <td>2,500,000</td> <td>2,084,429</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>誘致企業数</td> <td>社</td> <td>170</td> <td>188</td> <td>174</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ものづくり人材育成事業の受講者数</td> <td>件</td> <td>53</td> <td>60</td> <td>157</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <p>達成度 ◎：達成している ○：概ね達成している △：あまり達成していない ×：全く達成していない</p> <p>【個別施策の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営所得安定対策による農家所得の維持に努めながら、基盤整備や担い手への農地集積の推進、青年就農給付金事業に取り組み、担い手の確保を図った。</li> <li>・ 基盤整備事業は、市内15地区においてはほ場整備事業による区画の大型化、用排水路整備等を行うことにより生産性の向上や効率化を図り、持続的に発展する農業を目指している。</li> <li>・ グリーンツーリズムは、農村生活体験学習生の受入れを通して都市との交流が活発に行われ、受入校交流事業の実施などにより、堅調に推移している。</li> <li>・ 農畜産ブランド力の強化については、既に確立されているブランドの品質維持及び安定生産を図るための事業支援をすることにより、生産体制の確保に努めた。</li> <li>・ 両農協と連携して学校給食に地元食材を供給するなど、本市農畜産物の地産地消の促進に努めた。</li> <li>・ 商業振興については、平成28年度から奥州市商店街活性化ビジョンに基づく各種事業を実施して、商店街の活性化を図った。また、平成23年10月にオープンした「奥州市まちなか交流館」の入館者が年間8万6千人を超え、賑わいを創出した。さらに、商店街の空き店舗解消策として平成25年4月に「商店街新規出店促進事業補助制度」を創設し、平成25年度は新規出店7店舗に、平成26年度は新規出店19店舗に、平成27年度は新規出店12店舗に、平成28年度は新規出店11店舗に、平成29年度は新規出店6店舗、これまでに55店舗に対し出店経費及び借上経費の一部を助成した。</li> <li>・ 観光振興については、官民一体となった推進体制を構築すべく、どんとこ</li> </ul>						指 標 名	単位	目標達成度				現状値 (H27)	目標値 (H33)	H29年度末時点		実績	達成度	新規就農者数	人	21	25	25	◎	農業法人数	団体	76	112	90	○	基盤整備率	%	47.1	49.0	47.1	△	重点地域商店街への新規出店者数	店舗	12	10	7	△	重点商店街の通行量	人	12,894	13,410	10,835	×	観光客入込数	人	2,251,318	2,500,000	2,084,429	×	誘致企業数	社	170	188	174	○	ものづくり人材育成事業の受講者数	件	53	60	157	◎
指 標 名	単位	目標達成度																																																																
		現状値 (H27)	目標値 (H33)	H29年度末時点																																																														
				実績	達成度																																																													
新規就農者数	人	21	25	25	◎																																																													
農業法人数	団体	76	112	90	○																																																													
基盤整備率	%	47.1	49.0	47.1	△																																																													
重点地域商店街への新規出店者数	店舗	12	10	7	△																																																													
重点商店街の通行量	人	12,894	13,410	10,835	×																																																													
観光客入込数	人	2,251,318	2,500,000	2,084,429	×																																																													
誘致企業数	社	170	188	174	○																																																													
ものづくり人材育成事業の受講者数	件	53	60	157	◎																																																													

施策の大綱等	施政方針で述べた施策の総括（評価）
	<p>い奥州誘客促進会議（平成23年9月に市内観光団体等で組織）を中心に各種事業を実施した。広域観光については、奥州市、一関市、平泉町の2市1町で構成される「世界遺産連携推進実行委員会」や、岩手県、宮城県、山形県の6市4町で構成される「伊達な広域観光推進協議会」へ参画し、広域圏による観光振興の促進を図った。</p> <p>総合戦略事業としては、受入基盤を強化するため観光ガイドタクシーへの支援、観光ガイドの育成を行った。また東北観光復興対策交付金を活用し、奥州市民と台湾人監督等との協働による短編映画を作成するなど、台湾との交流促進事業を行った。また、同交付金を活用し、歴史公園えさし藤原の郷に施設案内やゲームコンテンツ機能を装備した多言語アプリを導入した。</p> <p>胆沢ダム周辺の活用については、カヌー、ラフティングなどの体験型コンテンツのモデル事業を行い、サービス化に向けた検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業誘致については、岩手県、県東京事務所、中小企業基盤整備機構等との連携により、積極的な企業誘致活動や既立地企業のフォローアップを行い、製造業2社の新規立地と、江刺フロンティアパークの分譲が4件あった。</li> <li>・ 地域企業の育成については、未来の活力・産業育成事業により、展示会出展等による販路拡大や企業競争力強化のための研修等を実施する企業に対し、前年より7件多い35件の補助金を交付した。また、市産業支援コーディネーター2名は、延べ390件を超える企業訪問を行い、技術指導や改善の提案、企業間や関係機関とのマッチング支援、企業からの依頼による講話など、地域企業のニーズを把握し、企業が抱える課題解決に取り組んだ。</li> <li>・ 人材育成については、技術系人材育成研修「奥州ものづくりセミナー」を実施し延べ136名の参加者を得たほか、組織力向上を目指した人材育成として採用担当者向け、管理者向け等の4階層別セミナーを実施し延べ83名の参加者を得た。</li> <li>・ 人材確保については、ジョブカフェ奥州において354名が新規会員登録し、前年度より35名多い延べ171名が採用決定したほか、平成29年度より新たに求人企業に対する支援を行い延べ231件の利用があるなど、地域産業の人材確保を図った。</li> <li>・ 地域活性化につながる起業家育成、創業支援については、創業支援事業計画に基づく創業支援相談窓口を企業振興課に設置し、インキュベーションマネージャーの認定を受けた産業支援コーディネーターを中心に各支援機関と連携を図りながら支援に取り組んだ。平成29年度、市が実施した創業支援に係る事業において16名の方が創業に至り、また、創業予定者等を対象とした奥州市創業塾を実施し21名の参加者を得たほか、創業に興味のある方、創業支援に携わる方を対象とした創業セミナーを開催するなど、起業・創業にチャレンジしようとする人材等への支援も行った。</li> </ul>

施策の大綱等	施政方針で述べた施策の総括（評価）																																																
V 環境にやさしい安全・安心なまちづくり	<p><b>〔総括評価〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良好な自然・生活環境の保全と循環型社会の形成については、奥州市環境基本計画に基づき、市民、市民団体、事業者等との協働により推進してきたが、今後さらに市民団体等との協働を強化し、環境に配慮したまちづくりに取り組む必要がある。また、東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に由来する放射性物質による汚染は、本市にも重大な影響を及ぼしており、継続した空間放射線量率の測定を行うとともに、共同仮置場未設置地区の側溝土砂の最終処分と利用自粛牧草及びほだ木の焼却処理を進めた。 また、奥州市公衆衛生組合連合会との連携による資源物の回収など、市民団体との協働により、廃棄物の適正処理に取り組んだ。</li> <li>・安全・安心な市民生活の実現については、警察署や関係団体と連携して防犯及び交通安全対策に取り組み、刑法犯の発生件数は年々減少し続け、初めて300件以下となった。また、交通事故死者数は前年と同数であったが、発生件数は前年より減少した。</li> <li>・災害に強いまちづくりの推進については、消防屯所の新築、消防車両、機械器具及び消防水利等の消防施設の整備を行った。また、防災対策としてハザードマップを作成し全戸に配布した。消防団員確保対策については、奥州市消防団プレミアム事業に継続して取り組んだ。</li> <li>・安全・安心な市民生活の実現については、消費者被害防止のため、出前講座等を通じて、積極的に啓発活動を行った。 また、平成29年度からは、金ヶ崎町と相談事務等を連携し、広く問題解決への支援に取り組んだ。</li> </ul> <p><b>【主な施策の達成度合を図る指標】</b></p> <table border="1" data-bbox="389 1348 1485 1789"> <thead> <tr> <th rowspan="3">指 標 名</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="4">目標達成度</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">現状値 (H27)</th> <th rowspan="2">目標値 (H33)</th> <th colspan="2">H29年度末時点</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民が受ける放射線量</td> <td>mSv/年 (<math>\mu</math>Sv/時)</td> <td>H23最大値 37.50 (7.3)</td> <td>1.00 以下</td> <td>1.00<sup>未達</sup> (0.23<sup>未達</sup>)</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>交通事故（人身）発生件数</td> <td>件</td> <td>315</td> <td>220</td> <td>263</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>おうしゅうエコ事業所制度登録数</td> <td>件</td> <td>72</td> <td>80</td> <td>74</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ハザードマップ配布世帯</td> <td>世帯</td> <td>0</td> <td>44,855</td> <td>44,355</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>消防団員数</td> <td>%</td> <td>83.1</td> <td>100.0</td> <td>95.8</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>市民・消費生活相談の件数</td> <td>件</td> <td>1,260</td> <td>1,140</td> <td>1,251</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <p>達成度 ◎：達成している ○：概ね達成している △：あまり達成していない ×：全く達成していない</p> <p><b>〔個別施策の評価〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公害防止・放射線対策については、市内の日常生活空間の放射線量率は国の除染基準を下回り、低減傾向に推移しているところであるが、原木しいたけなど林産物の一部に依然として出荷制限となっているものがあり、継</li> </ul>	指 標 名	単位	目標達成度				現状値 (H27)	目標値 (H33)	H29年度末時点		実績	達成度	市民が受ける放射線量	mSv/年 ( $\mu$ Sv/時)	H23最大値 37.50 (7.3)	1.00 以下	1.00 <sup>未達</sup> (0.23 <sup>未達</sup> )	◎	交通事故（人身）発生件数	件	315	220	263	○	おうしゅうエコ事業所制度登録数	件	72	80	74	○	ハザードマップ配布世帯	世帯	0	44,855	44,355	○	消防団員数	%	83.1	100.0	95.8	◎	市民・消費生活相談の件数	件	1,260	1,140	1,251	◎
指 標 名	単位			目標達成度																																													
				現状値 (H27)	目標値 (H33)	H29年度末時点																																											
		実績	達成度																																														
市民が受ける放射線量	mSv/年 ( $\mu$ Sv/時)	H23最大値 37.50 (7.3)	1.00 以下	1.00 <sup>未達</sup> (0.23 <sup>未達</sup> )	◎																																												
交通事故（人身）発生件数	件	315	220	263	○																																												
おうしゅうエコ事業所制度登録数	件	72	80	74	○																																												
ハザードマップ配布世帯	世帯	0	44,855	44,355	○																																												
消防団員数	%	83.1	100.0	95.8	◎																																												
市民・消費生活相談の件数	件	1,260	1,140	1,251	◎																																												

施策の大綱等	施政方針で述べた施策の総括（評価）
	<p>続して市内の放射線量の観測（測定）を実施した。また、放射性物質に汚染された牧草、ほだ木の農林業系廃棄物の処理については、当初計画に基づく焼却処理を進め、事業を完了した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同仮置場未設置地区の側溝土砂については、清掃を希望する行政区等に住民説明会や一時保管場所設置支援を行い、中間処理を経て最終処分を行った。</li> <li>・資源物の有効活用や廃棄物の適正処理については、市公衆衛生組合連合会等との協働により、リサイクル推進による資源物の分別回収や生ごみ処理機の購入補助による可燃ごみの低減、不法投棄廃棄物の処理に努めた。</li> <li>・小型家電の回収、奥州めぐみネットとの協働による古着回収等に加えて、「ごみ・リサイクル出前講座」を開講し、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進及びごみの減量化について実践と学習の両面から取り組んだ。</li> <li>・「おうしゅうエコ事業所」の登録数は微増しているが、さらなる啓発が必要である。</li> <li>・生活環境課内に空家対策室を設置し、奥州市空家等対策計画に基づく総合的な対策に着手した。</li> <li>・防災対策として災害が発生した場合の避難場所や避難所、防災に関する情報を掲載したハザードマップを作成し全戸に配布した。今後は出前講座等により内容の周知を図る。</li> <li>・消防設備の整備については、旧市町村の取組状況やインフラ整備の違いにより、地域ごとに整備状況に偏りが見られる。今後は市内均一な施設及び設備の整備を推進するとともに、分団部の統合などにより少ない投資でより大きな効果が得られる整備を行っていく必要がある。</li> <li>・奥州市消防団の団員数は、平成22年4月1日の発足時は1,998人で、以後、平成26年1,898人、平成27年1,838人、平成28年1,882人、平成29年1,778人と増減を繰り返し、平成29年度末で1,821人となっている。今後も安定的な消防活動を維持するため、より一層の団員確保対策を講じていく必要がある。</li> <li>・平成29年度から取り組んだ金ヶ崎町との連携による、市民相談、消費生活相談について、金ヶ崎町民からの相談件数は37件であり、今後も啓発、周知を進めていく必要がある。</li> </ul>
<p>VI 快適な暮らしを支えるまちづくり</p>	<p>〔総括評価〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路環境の充実については、特定財源の確保に努めながら、限られた予算の中で安全、安心な道路環境を確保するため補修等の維持管理を行った。また、道路交通網の構築のため幹線道路、生活関連道路等の改良整備を実施し、利用者にやさしい道路環境の形成に努めた。</li> <li>・快適な生活環境の充実については、平成26年4月に策定した「奥州市景観計画」のもと、住民の景観に対する意識の醸成と住民の景観形成活動を支援した。また、安心して利用できる公園施設の整備と維持管理を行った。</li> </ul>

施策の大綱等	施政方針で述べた施策の総括（評価）																																																											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 快適な住環境の実現については、住宅リフォーム事業費助成や被災住宅再建支援を行った。また、市営住宅の予防保全的な管理や改善を進めるために平成24年度に策定した長寿命化計画に基づき、快適な住宅の整備と修繕に取り組み安全対策を促進した。</li> <li>・ 公共下水道事業は地域の実情を踏まえながら整備区域を拡大し、農業集落排水事業は処理施設の機能強化、浄化槽は普及を促進し、効率的な污水处理の普及に努めた。</li> <li>・ 平成25年3月に策定した「奥州市水道事業中期経営計画（後期計画）」（計画期間 平成25年度～平成29年度）に基づき、平成30年4月の前沢地域生母簡易水道事業の水道事業統合に向け準備を行うなど、効率的で安定した経営を行った。</li> </ul>																																																											
	【主な施策の達成度合を図る指標】																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">指 標 名</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="4">目標達成度</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">現状値 (H27)</th> <th rowspan="2">目標値 (H33)</th> <th colspan="2">H29年度末時点</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>舗装改修延長</td> <td>m</td> <td>0</td> <td>31,580</td> <td>8,124</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>舗装整備率</td> <td>%</td> <td>58.90</td> <td>59.40</td> <td>59.56</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>歩道設置延長</td> <td>km</td> <td>210.30</td> <td>214.40</td> <td>211.63</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>污水处理人口普及率</td> <td>%</td> <td>78.6</td> <td>85.8</td> <td>80.0</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>污水处理水洗化人口割合</td> <td>%</td> <td>67.3</td> <td>78.8</td> <td>69.5</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>水道有収率</td> <td>%</td> <td>75.8</td> <td>78.7</td> <td>76.2</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水道管の耐震化率</td> <td>%</td> <td>13.1</td> <td>16.1</td> <td>14.2</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>						指 標 名	単位	目標達成度				現状値 (H27)	目標値 (H33)	H29年度末時点		実績	達成度	舗装改修延長	m	0	31,580	8,124	○	舗装整備率	%	58.90	59.40	59.56	◎	歩道設置延長	km	210.30	214.40	211.63	○	污水处理人口普及率	%	78.6	85.8	80.0	◎	污水处理水洗化人口割合	%	67.3	78.8	69.5	◎	水道有収率	%	75.8	78.7	76.2	○	水道管の耐震化率	%	13.1	16.1	14.2	○
指 標 名	単位	目標達成度																																																										
		現状値 (H27)	目標値 (H33)	H29年度末時点																																																								
				実績	達成度																																																							
舗装改修延長	m	0	31,580	8,124	○																																																							
舗装整備率	%	58.90	59.40	59.56	◎																																																							
歩道設置延長	km	210.30	214.40	211.63	○																																																							
污水处理人口普及率	%	78.6	85.8	80.0	◎																																																							
污水处理水洗化人口割合	%	67.3	78.8	69.5	◎																																																							
水道有収率	%	75.8	78.7	76.2	○																																																							
水道管の耐震化率	%	13.1	16.1	14.2	○																																																							
	達成度 ◎：達成している ○：概ね達成している △：あまり達成していない ×：全く達成していない																																																											
	【個別施策の評価】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路交通網の構築については、基幹道路や広域道路網を整備するため、社会資本整備総合交付金や合併特例債など特定財源の確保に努めながら、市内の幹線道路等の整備を行いネットワーク形成に努めた。</li> <li>・ 生活道路や交通安全施設については、地区要望などを踏まえ、緊急性、重要性、地域性等を十分に考慮しながら、整備や維持管理を行い、安全性と利便性の向上を図った。また、市内小学校の通学路の危険箇所について、関係機関と合同点検を実施し、必要な安全対策を講じた。</li> <li>・ 道路の適正な維持管理については、道路パトロールを民間に委託し、定期的に幹線道路や生活道路を中心にパトロールを実施するとともに、市民からの情報提供や意見を踏まえ、適切な維持補修、交通安全施設の整備及び除雪等を実施し、市民の安心で快適な生活空間の確保に努めた。</li> <li>・ 道路ストックの長寿命化に向けた維持管理については、各点検計画に基づき、道路橋（258橋）、トンネル（2基）、大型カルバート（1基）及び立体交差（7基）の詳細点検を実施するとともに、橋梁長寿命化修繕計画に</li> </ul>																																																											

施策の大綱等	施政方針で述べた施策の総括（評価）
	<p>基づき、22橋の橋梁修繕工事及び老朽法面の補修補強工事（1箇所）を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街路事業については、水沢地域の「久田前田中線」の測量設計、下部構造検査路設置（検査路N=1箇所、防護柵L=42m）及び防護柵設置121m等の工事を実施し、事業が完了した。</li> <li>・奥州スマートインターチェンジ設置事業については、NEXCO東日本との基本協定に基づき、土工事等に係る負担金の支出及び物件移転補償を行った。また、周辺における標識設置を行うとともに、接道する路線への右折レーン設置工事等を行った。</li> <li>・国道4号水沢東バイパス等の道路整備促進については、期成同盟会を組織している地域の住民とともに、関係機関に対して早期実現を要望した。 「国道4号水沢東バイパス整備」事業は、平成31年度末までにマイアネタウンまでの開通の見通しとなった。また、「新小谷木橋」事業は、県が平成34年度の供用開始に向けて工事を進めていたが、復興事業を加速させるため平成32年供用開始予定に事業期間が短縮される予定となった。</li> <li>・北上川無堤防地帯の早期事業着手等の治水対策促進については、北上川中流部緊急治水対策事業により事業を推進しているが、無堤地帯の早期着工や補強が必要な箇所の全区間整備できるよう要望会を実施し、国土交通大臣をはじめ国、県に強く要望した。</li> <li>・東日本大震災により被災した住宅の再建については、生活再建住宅支援事業補助金を79件、27,302千円交付した。引き続き未再建者に制度を周知するとともに、適切な支援を行う。市営住宅については、建物の長寿命化や改善など12件の修繕工事を実施した。</li> <li>・公共下水道の整備推進については、水沢の羽田町地区、佐倉河地区、真城地区等で実施し、農業集落排水施設は、江刺上三照地区の機械設備などの機能強化を行った。</li> <li>・平成25年3月に策定した「奥州市水道事業中期経営計画（後期計画）」（計画期間平成25年度～平成29年度）の計画年度が終了することから、奥州市水道事業ビジョンに基づき、引き続き効率的で安定した経営を行うため、その行動計画となる「第2次奥州市水道事業中期経営計画」の策定に取り組んだ。 安全で安心な水道水の安定供給について、創設事業は、広域受水に対応した衣川地域の新古戸配水池築造工事、江刺地域の国道456号配水管布設工事などを実施した。建設改良事業は、水沢地域の石綿セメント管更新事業市道東田中宿線外配水管布設替工事、江刺地域の老朽管更新事業市道桜木橋大通り線配水管布設替工事など主に老朽管更新事業や水圧適正化事業を実施し、漏水対策を推進した。施設の耐震化は、水道管路耐震化事業【水沢区】桜屋敷配水系導送水管実施設計図書作成業務【管布設】を実施し、計画的に進めている。さらに、平成26年度から継続して実施してきた配水管洗浄作業業務が平成29年度をもって事業完了し、前沢地域の黒水</li> </ul>

施策の大綱等	施政方針で述べた施策の総括（評価）																																																																																													
	<p>（マンガン）の発生を解消した。</p> <p>また、平成27年に改定した水道料金について、今後の収支計画を検討したところ、平成32年度までは収益的収支の黒字決算、留保資金が概ね12億円を確保できる見込みとなったことから、水道料金の改定は行わず現状のまま据え置きとした。</p>																																																																																													
行政経営改革の推進について	<p>〔総括評価〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度から5年間を取組期間とした「奥州市行政経営改革プラン」の目標達成に向け取り組んだ。</li> </ul> <p>【主な施策の達成度合を図る指標】</p> <table border="1" data-bbox="391 728 1484 1131"> <thead> <tr> <th rowspan="3">指 標 名</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="4">目標達成度</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">現状値 (H27)</th> <th rowspan="2">目標値 (H29)</th> <th colspan="2">H29年度末時点</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人事評価</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>能力評価S以上の割合</td> <td>%</td> <td>—</td> <td>8.1</td> <td>5.8</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>業績評価A以上の割合</td> <td></td> <td></td> <td>88.9</td> <td>89.3</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>公共施設の民間運営率</td> <td>%</td> <td>12.9</td> <td>23.9</td> <td>19.3</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>実質公債費比率</td> <td>%</td> <td>16.2</td> <td>15.4</td> <td>16.3</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>将来負担比率</td> <td>%</td> <td>122.0</td> <td>127.1</td> <td>113.6</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>協働の提案テーブル事業の実現数</td> <td>件</td> <td>—</td> <td>25</td> <td>27</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <p>達成度 ◎：達成している ○：概ね達成している △：あまり達成していない ×：全く達成していない</p> <p>〔個別施策の評価〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政経営改革プランの取組については、全116項目中「蔵まち郷土食財館の民間移譲」など10件の完了目標事業を掲げて取り組んだ結果、6件の事業を完了したほか、目標年度を前倒しして完了した事業は8件であった。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="391 1433 1484 2072"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施事業名</th> <th>目標年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>職員提案制度の導入</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>蔵まち郷土食財館の民間移譲</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>江刺大平生活改善センターの民間移譲</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>湧水地維持管理事業の廃止</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>患者輸送バス事業の見直し</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>環境フォーラムの見直し</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>江刺カルチャパークの管理体制の見直し</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>くくり雛まつり実行委員会補助金の廃止</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>胆沢牧野事業の見直し</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>森林総合利用促進施設（つぶ沼森の家）の廃止</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>衣川老人福祉センターの廃止</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>簡易水道の水道事業会計への統合</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table>	指 標 名	単位	目標達成度				現状値 (H27)	目標値 (H29)	H29年度末時点		実績	達成度	人事評価						能力評価S以上の割合	%	—	8.1	5.8	○	業績評価A以上の割合			88.9	89.3	◎	公共施設の民間運営率	%	12.9	23.9	19.3	△	実質公債費比率	%	16.2	15.4	16.3	△	将来負担比率	%	122.0	127.1	113.6	◎	協働の提案テーブル事業の実現数	件	—	25	27	◎		実施事業名	目標年度	1	職員提案制度の導入	H29	2	蔵まち郷土食財館の民間移譲	〃	3	江刺大平生活改善センターの民間移譲	〃	4	湧水地維持管理事業の廃止	〃	5	患者輸送バス事業の見直し	〃	6	環境フォーラムの見直し	〃	7	江刺カルチャパークの管理体制の見直し	H30	8	くくり雛まつり実行委員会補助金の廃止	〃	9	胆沢牧野事業の見直し	〃	10	森林総合利用促進施設（つぶ沼森の家）の廃止	〃	11	衣川老人福祉センターの廃止	〃	12	簡易水道の水道事業会計への統合	〃
指 標 名	単位			目標達成度																																																																																										
				現状値 (H27)	目標値 (H29)	H29年度末時点																																																																																								
		実績	達成度																																																																																											
人事評価																																																																																														
能力評価S以上の割合	%	—	8.1	5.8	○																																																																																									
業績評価A以上の割合			88.9	89.3	◎																																																																																									
公共施設の民間運営率	%	12.9	23.9	19.3	△																																																																																									
実質公債費比率	%	16.2	15.4	16.3	△																																																																																									
将来負担比率	%	122.0	127.1	113.6	◎																																																																																									
協働の提案テーブル事業の実現数	件	—	25	27	◎																																																																																									
	実施事業名	目標年度																																																																																												
1	職員提案制度の導入	H29																																																																																												
2	蔵まち郷土食財館の民間移譲	〃																																																																																												
3	江刺大平生活改善センターの民間移譲	〃																																																																																												
4	湧水地維持管理事業の廃止	〃																																																																																												
5	患者輸送バス事業の見直し	〃																																																																																												
6	環境フォーラムの見直し	〃																																																																																												
7	江刺カルチャパークの管理体制の見直し	H30																																																																																												
8	くくり雛まつり実行委員会補助金の廃止	〃																																																																																												
9	胆沢牧野事業の見直し	〃																																																																																												
10	森林総合利用促進施設（つぶ沼森の家）の廃止	〃																																																																																												
11	衣川老人福祉センターの廃止	〃																																																																																												
12	簡易水道の水道事業会計への統合	〃																																																																																												

施策の大綱等	施政方針で述べた施策の総括（評価）									
	13	水沢区子供会育成会連合会事業の見直し	〃							
	14	地区センターの地元運営の確立	H32							
	<p>・平成30年度の組織体制の構築に向けての取組については、新たな課題等に対応できるよう以下の組織の設置、体制強化を行った。</p>									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="375 436 582 481">部局</th> <th data-bbox="582 436 1316 481">組織設置・体制強化理由</th> <th data-bbox="1316 436 1503 481">時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="375 481 582 593">総務企画部</td> <td data-bbox="582 481 1316 593">総務課 情報政策室</td> <td data-bbox="1316 481 1503 593">自治体クラウドの構築準備のため係体制から室体制に強化</td> <td data-bbox="1316 481 1503 593">H30.4</td> </tr> </tbody> </table>			部局	組織設置・体制強化理由	時期	総務企画部	総務課 情報政策室	自治体クラウドの構築準備のため係体制から室体制に強化	H30.4
部局	組織設置・体制強化理由	時期								
総務企画部	総務課 情報政策室	自治体クラウドの構築準備のため係体制から室体制に強化	H30.4							
	<p>・第2次定員適正化計画に基づく職員数の削減については、情報政策、きらめきマラソン、カヌー・ジャパンカップなどの新規需要にも対応しながら、定員適正化計画数863人（前年比13人減）に対し、実人員数861人となり目標数を達成した。なお、実人員が2人少ない理由は、採用発表後に退職者が出たことによる。</p>									